



# 岡山いのちの電話

## 第29期電話相談員養成講座

### 募 集 要 項

2012年

さまざまな悩み、心の危機に直面しながら、身近に相談できる相手がなく、孤独の中にいる人たちがいます。

いのちの電話は、訓練を受けたボランティアが電話を通して、そのような精神的危機にある人たちの良き相談相手になっていこうとする市民による奉仕活動です。

いのちの電話は、1953年イギリスで始まり、現在では40ヶ国以上の各都市で多くの方がボランティアとして活動しています。日本では1971年に東京で始まり、今では51センターが開局しています。岡山いのちの電話は1984年4月に開局し、現在約230名の相談員が毎日多くの相談を受けています。

いのちの電話の活動は、特定の思想・信条・宗教をこえて、ひとりひとりの「いのち」と幸せを大切にして、悩める人々、孤独な人々のよき隣人として、共に生きようとするものです。

相談電話の数はますます増える一方です。あなたもこの活動に参加して、仲間となってください。

社会福祉法人

岡山いのちの電話協会

会長 堀井 茂男

事務局 〒700-0972 岡山市北区上中野1-3-5

電 話 (086) 245-4344

F A X (086) 245-7743

## 「いのちの電話」相談員

1. 岡山いのちの電話は現在4台の電話で、日曜祝日を含む365日24時間体制（眠らぬダイヤル）で相談を受けています。
2. 相談員は原則として各自2週間に1回電話センターに通って電話を担当します。また、深夜は年に数回担当します。
3. 相談員になるためには決められた手続きを経て、1年間の研修を終了し、認定を受けます。
4. 認定後も所定の継続研修を行います。
5. 相談員は電話相談にあたるほか、募金、広報などのいのちの電話全体の活動にも参加してこの事業を支えます。
6. 養成講座を受けられた方、認定された方は、止むを得ない特別の支障のない限り、相談員として活動していただきます。
7. すべての活動に関しては、ボランティアとして無給を原則とします。

## 募 集 要 項

- 募集定員** 40名
- 受講資格** 原則として、年齢23歳～63歳位までの男女で、いのちの電話の趣旨に賛同し活動に積極的に参加できる方。特に深夜帯および日曜日に活動のできる方を歓迎します。
- 受講料** 50,000円 これには一泊二日の研修2回分の費用を含みます。受講決定後、支払方法についてお知らせします。
- 申込手続** 次のものを揃えて事務局宛にお送り下さい。個人の秘密は厳守します。
1. 決められた申込用紙
  2. 「受講動機」と題する作文（400字詰め原稿用紙2枚、800字程度、パソコン可）
  3. 「私の生い立ちと今の自分」（自分の人格形成にかかわりの深い出来事など）と題する作文（400字詰め原稿用紙5枚、2000字程度、パソコン可）
  4. 申込料1,000円（切手可、ただし100円以下の切手でお願いします。）
  5. 作文及び申込料は受講できなくなった場合でもお返し致しません。必要な方はコピーをとっておいて下さい。
- 申込期限** 2012年3月3日（土）（当日消印有効）
- 申 込 先** 〒700-0972 岡山市北区上中野1-3-5 岡山いのちの電話協会 事務局
- 問 合 せ 先** 事務局（086）245-4344（月～金 10時～17時）
- FAX（086）245-7743
- 審 査** 申し込まれた方は面接を受けていただきます。場合によっては受講をお断りすることがありますのでお含みおき下さい。
- 面接の日時は**3月10日（土）**午後、場所は後日お知らせします。

## 第29期養成講座の内容ならびに開催日

曜日と時間 木曜日 18:30～20:30

No.	開催日	講義内容
1	2012年 4月7日(土) 13:30～	開講式 いのちの電話とそのボランティアについて
2	4月12日(木)	カウンセリングのこころと方法
3	4月19日(木)	人間関係づくり(グループワーク)
4	5月10日(木)	電話相談のこころ
5	5月19～20日(土・日)	人間関係体験学習(1)(宿泊研修)
6	5月24日(木)	フォローアップ研修
7	5月31日(木)	病める心の理解と援助(精神障害)
8	6月7日(木)	病める心の理解と援助(神経症水準)
9	6月14日(木)	人の心の発達
10	6月28日(木)	女性のこころのケア
11	7月12日(木)	自分を見つめるー内観療法ー
12	7月19日(木)	P T S D (心的外傷後ストレス障害) 適応障害
13	7月28～29日(土・日)	人間関係体験学習(2)(宿泊研修)
14	8月2日(木)	電話相談の方法(1)積極的傾聴の意義と技法
15	8月16日(木)	電話相談の方法(2)質問・助言・情報提供
16	8月23日(木)	ショートカウンセリング(1)
17	9月6日(木)	ショートカウンセリング(2)
18	9月13日(木)	ショートカウンセリング(3)
19	9月20日(木)	ショートカウンセリング(4)
20	9月27日(木)	ショートカウンセリング(5)まとめ
21	10月4日(木)	青少年の理解と対応
22	10月11日(木)	家族関係論ー家族療法からー
23	10月18日(木)	自殺の心理と介入
24	11月1日(木)	頻回通話者について
25	11月15日(木)	性の問題と電話相談
26	11月22日(木)	電話相談員の危機
27	12月6日(木)	相談員と語る(電話相談のスピリット)
28	12月13日(木)	社会資源とその情報提供の仕方
29	12月20日(木)	実地訓練に入るに当たって(見学・先輩と語る)
30	2013年 1月～3月	実地訓練
31	1月24日(木)	ケース研究(1)
32	2月14日(木)	ケース研究(2)
33	3月7日(木)	相談員と語る(グループ討議)閉講式
34	6月20日(木)	認定後フォローアップ研修

会場 岡山いのちの電話研修室(宗忠神社の駐車場をお借りしています。要・駐車証)  
但し、5月と7月に行う宿泊研修の人間関係体験学習(1)(2)は  
「岡山いこいの村」(瀬戸内市邑久町虫明大平山5652-11)で行います。  
上記のほか、全体研修が年に数回行われます。これらはその都度ご案内いたします。

# 研修担当者

2011年12月現在  
(50音順)

青木省三

(川崎医科大学精神科学教室教授)

石田敦

(吉備国際大学教授)

稲田正文

(川崎医療福祉大学教授)

江崎富男

(倉敷教育相談室相談員)

太田順一郎

(岡山市こころの健康センター所長)

大重恵子

(岡山大学病院小児科臨床心理士)

大西勝

(岡山大学保健管理センター教授)

大羽博志

(慈圭病院臨床心理室長)

岡部伸幸

(岡山大学病院精神科神経科助教)

加藤博仁

(吉備国際大学社会福祉学部教授)

黒田重利

(慈圭病院医師)

清水幸登

(精神科医)

高橋長蔵

(吉備国際大学非常勤講師)

武内信子

(近畿医療福祉大学特任教授)

田邊研二

(倉敷神経科病院顧問)

塚本千秋

(独立行政法人岡山県精神科医療センター医師)

坪田憲和

(川崎医療福祉大学非常勤講師)

寺田整司

(岡山大学大学院准教授)

中島豊爾

(独立行政法人岡山県精神科医療センター理事長・名誉院長)

中野善行

(なかのクリニック院長)

中原実道

(清雲寺住職)

林清秀

(スクールカウンセラー)

平松芳樹

(中国学園大学名誉教授)

藤坂圭子

(岡山市立後楽館高等学校教諭)

藤田俊夫

(カウンセリング・ルーム・ふりーさいず代表)

堀井茂男

(慈圭病院院長)

牧野寛

(倉敷市立真備東中学校)

宮川数君

(流通科学大学教授)

虫明修

(なかのクリニック臨床心理士)

村上伸治

(川崎医科大学精神科学教室講師)

森口章

(沢田の杖塾主宰)

安原こずえ

(学校カウンセラー)

山口修

(学校カウンセラー)

鷺田健二

(慈圭病院病棟医長)